

2008年1月11日
東日本旅客鉄道株式会社

2007年度「踏切事故0運動」の展開について

ドライバーの方に、踏切の前で一旦停止するルールを再認識していただくと共に、踏切内でトラブルにあった場合の脱出方法をアピールします。テレビ、ラジオにおける放送ならびに新聞への掲載及び山手、中央、京浜東北線車内の扉上に設置されたモニターでの放映により、展開をアピールします。

「踏切事故^{ゼロ}0運動」は1991年から継続して実施しています。

1 実施期間・エリア

冬期の踏切事故増加傾向に合わせ「2008年1月15日（火）から2008年2月14日（木）まで」の期間実施します。

JR東日本管内全エリアで実施します。

2 具体的な展開方法

当社管内における踏切事故は2007年度4月～12月で33件発生しており、その多くはドライバーによる無理な踏切への進入によるものです。また、冬季は降雪や路面凍結によるスリップ等の事故が増加傾向にありますので、ドライバーの方へ踏切の前でのスリップ注意、一旦停止と踏切内に閉じ込められた場合の脱出方法を再度アピールします。

3 その他

当社管内の踏切等において、パンフレットの配布を行い、「踏切事故0運動」の展開をアピールします。

首都圏では「踏切事故0運動」のポスターを掲示します。また、首都圏外では「スリップ注意」のポスターを掲示します。

もし、踏切内に
閉じ込められたら、
あわてずにゆっくり
前進してください。

しゃ断棒は車で押せば、跳ね上がります。こうなる前に、踏切では必ず一旦停止をお願いします。



※踏切内で脱出できなくなった時、非常ボタンがある踏切ではボタンを押してください。

冬期は、路面凍結による踏切でのスリップにご注意ください。

注意
スリッパ

凍結などによる
スリッパが多発する
季節です。踏切の前では
早めのブレーキで、
しっかりと一旦停止を。

冬の

踏切事故 ^{ゼロ}0 運動

もし、踏切内に閉じ込められたら、あわてずにゆっくり前進してください。しゃ断棒は車で押せば、跳ね上がります。